

2017年度量子ビームサイエンスフェスタ (第9回 MLF シンポジウム, 第35回 PF シンポジウム) 開催のお知らせ

PF シンポジウム実行委員会委員長 平野馨一
MLF シンポジウム実行委員会委員長 佐野亜沙美

PF ニュース 35-2 号にて既にお知らせしておりますが、2018年3月2日(金)、3日(土)、4日(日)の日程で、2017年度量子ビームサイエンスフェスタ(第9回 MLF シンポジウム, 第35回 PF シンポジウム)を茨城県立県民文化センターにて開催致します。

1日目は MLF シンポジウムを開催し、午後には MLF 見学も平行で開催します。また、夕方からユーザーグループミーティングが予定されています。2日目は午前中に基調講演を開催し、午後はポスターセッション1の後に平行のトークセッションを開催する予定です。3日目はポスターセッション2の後に PF シンポジウムを開催します。

このシンポジウムは、施設側スタッフ、ユーザーの皆様が一堂に会することのできる機会ですので、是非ご参加下さいませようお願い申し上げます。

<開催概要>

主催: 物質構造科学研究所, J-PARC センター, 総合科学研究機構 (CROSS), PF- ユーザアソシエーション (PF-UA), J-PARC MLF 利用者懇談会

後援: 茨城県, つくば市, 東海村

協賛: 応用物理学会, 高分子学会, 中性子産業利用推進協議会, 日本化学会, 日本加速器学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本結晶学会, 日本原子力学会, 日本高圧力学会, 日本材料学会, 日本磁気学会, 日本地球惑星科学連合, 日本中間子科学会, 日本中性子科学会, 日本鉄鋼協会, 日本表面科学会, 日本物理学会, 日本放射化学会, 日本放射光学会, 日本陽電子科学会

会期: 2018年3月2日(金), 3日(土), 4日(日)

会場: 茨城県立県民文化センター

茨城県水戸市千波町東久保 697 番地

参加申し込み方法:

ホームページ (<http://www.j-parc.jp/researcher/MatLife/ja/meetings/qbs-festa/2017/>) より参加申込フォームにてお申し込み下さい(ウェブでの参加申し込み, 懇親会代事前申込は1月12日(金)まで。その後は当日会場にて)。

参加費: 無料

懇親会: 3月3日(土) 18:45~フェリベールサンシャイン 2F ローンフィールド・リシンキャッスル

会費: 事前カード払い 5,000 円 (一般), 3,000 円 (学生)

当日現金払い 6,000 円 (一般), 4,000 円 (学生)

プログラム:

[3月2日(金)(1日目)]

第9回 MLF シンポジウム (小ホール)

09:30- 受付開始 (エントランスホール)

10:00-10:50 J-PARC センター長挨拶

齋藤直人 J-PARC センター長

10:05-11:20 施設報告

10:00-10:20 「概要と来年度の展望」

金谷利治 MLF ディビジョン長)

10:20-10:35 「中性子標的容器の高出力対応化の現状」

羽賀 勝洋 (日本原子力研究開発機構)

10:35-10:50 「J-PARC MLF 重水素化試料作製環境の紹介」

阿久津和宏 (総合科学研究機構)

10:50-11:05 「共通試料環境機器の現状と今後の予定」

渡辺真朗 (日本原子力研究開発機構)

11:05-11:20 「施設報告計算環境 MLF におけるリアルタイムデータ処理」

稲村 泰弘 (日本原子力研究開発機構)

11:20-11:30 休憩

11:30-12:30 ユーザーからの要望 (MLF 利用者懇談会)

アンケートまとめ, 施設報告への質問

12:30-13:40 昼食 (MLF 利用者懇談会)

13:40-14:55 MLF における新規技術・解析手法開発

13:40-14:00 「電池の負ミュオン捕獲 X 線によるリチウム電池の非破壊分析」

反保元伸 (KEK 物構研)

14:05-14:25 「中性子の新しい使い方: 中性子ホログラフィーによるドーバント周りの原子配置の観測」

大山研司 (茨城大学)

14:30-14:50 「数学のグラフ解析の結晶構造解析への適用」

富安亮子 (山形大学)

14:50-15:10 休憩

15:10-15:50 特別講演

「3D characterization of crystalline and magnetic structures using Neutron and X-ray imaging」

S. Schmidt (デンマーク工科大学)

16:00-16:15 休憩

16:15-18:50 CROSS・MLF サイエンスグループからの報告

16:15-16:30 「中性子イメージングと組み合わせた二軸応力試験法の開発」

鈴木淳市 (総合科学研究機構)

16:35-16:50 「乱れた構造がもたらす機能性発現のメカニズム」

川北至信 (日本原子力研究開発機構)

16:55-17:10 「水素化物の規則一不規則構造解析」

大友季哉 (KEK 物構研)

- 17:15-17:30 「対称性の変化と物性：磁性・エネルギー材料」
神山崇 (KEK 物構研)
- 17:35-17:50 休憩
- 17:50-18:05 「ミュオンの S1 実験エリアにおける元素戦略「電子材料」研究」
小嶋健児 (KEK 物構研)
- 18:10-18:25 「動き始めた BL06 中性子共鳴スピネコ一分光器群 “VIN ROSE”」研究」
遠藤仁 (KEK 物構研)
- 18:30-18:45 「偏極中性子散乱装置 POLANO」
横尾哲也 (KEK 物構研)
- 18:50-19:00 閉会
- 19:00-21:00 フリーディスカッション

J-PARC MLF 見学

- 12:30 東海駅発 (貸し切りバスで移動)
MLF 見学
- 16:00 茨城県立県民文化センター着
(貸し切りバスで移動)

PF-UA ユーザーグループミーティング

- 18:00-21:00 茨城県立県民文化センター
※会場は PF-UA のホームページ (<http://pfwww2.kek.jp/pfua/>) を参照して下さい。

【3月3日(土)(2日目)】

2017 年度量子ビームサイエンスフェスタ (大ホール)

- 08:30 受付開始 (エントランスホール)
- 09:00-09:10 開会挨拶
- 09:10-11:00 基調講演
- 09:10-09:55 「スモールをメディアムへ束ねる場・大型研究施設」
高尾正敏 (元 大阪大学/パナソニック)
- 10:05-10:15 休憩
- 10:15-11:00 「物質科学者として量子ビームに何を期待しているか」
有馬孝尚 (東京大学)
- 11:10-11:50 来賓挨拶
- 11:50-12:00 写真撮影
- 12:00-13:20 昼食
- 13:20-14:50 ポスターセッションパート I (県民ギャラリー)
- 14:50-16:05 パラレルセッション パート I

(A1) 機能性物質の探索と物質科学 (大ホール)

- 14:50-15:10 「水素結合型強誘電体クロコニ酸結晶における光誘起超高速分極反転」
岩野薫 (KEK 物構研)
- 15:15-15:35 「Cracking the atomic mystery of perovskite solar cell materials with neutron scattering」
Bing Li (日本原子力研究開発機構)
- 15:40-16:00 「ガラスの基本単位であるオルトケイ酸の

単結晶構造解析」
五十嵐正安 (産業技術総合研究所)

(B1) 強相関 I (小ホール)

- 14:50-15:10 「量子スピン系の物理-物質創成の立場から」
田中秀数 (東京工業大学)
- 15:15-15:35 「幾何学的フラストレーション系物質におけるエキゾチックな磁気基底状態」
岡部博孝 (KEK 物構研)
- 15:40-16:00 「スピン軌道結合モット絶縁体における量子スピン液体」
求幸年 (東京大学)

(C1) 産業利用・材料科学 (集会室 8)

- 14:50-15:10 「電力用半導体における宇宙線耐量」
織田哲男 (日立パワーデバイス)
- 15:15-15:35 「半導体メモリデバイスのミュオン誘起ソフトエラー」
渡辺幸信 (九州大学)
- 15:40-16:00 「量子ビームを用いた転位キャラクタリゼーションに基づく材料強度特性の理解」
佐藤成男 (茨城大学)

(D1) CMRC セッション Part1 2017 ハイライト 各プロジェクトから (集会室 10)

- 14:50-15:10 「アンチペロブスカイト酸化物における電子機能探索」
組頭広志 (KEK 物構研)
- 15:15-15:35 「XAFS で見えたアンモニア合成触媒 Ru/Ca(NH₂)₂, Ru/Ca₂NH の Ru-N 結合とそのアンカー効果」
阿部仁 (KEK 物構研)
- 15:40-16:00 「機械学習による量子ビーム実験の高効率化」
小野寛太 (KEK 物構研)

16:05-16:20 休憩

16:20-18:05 パラレルセッション パート II

(A2) 自動化の後ろ側 (大ホール)

- 【司会進行：藤橋雅宏 (京都大学)】
【パネリスト：佐藤衛 (横浜市立大学), 中川敦史 (大阪大学), 胡桃坂仁志 (早稲田大学), 大友季哉 (KEK 物構研), 宮口郁子 (田辺三菱製薬株式会社), 仁谷浩明 (KEK 物構研)】
- 16:20-17:00 自動化の後ろ側について
- 16:20-16:35 「PX 及び SAXS の自動化状況と将来計画」
山田悠介/清水伸隆 (KEK 物構研)
- 16:35-16:45 「PF XAFS ビームラインにおける自動化と将来展望」
仁谷浩明 (KEK 物構研)
- 16:45-17:00 自動化状況に関する質問及び討論
- 17:05-17:50 自動化の未来と教育
- 17:05-17:15 「自動化によって失われたものは？」
中川敦史 (大阪大学)
- 17:15-17:25 「自動化によって得られたものは？」
胡桃坂仁志 (早稲田大学)

- 17:25-17:30 ユーザーアンケートの結果報告
藤橋雅宏 (京都大学)
- 17:30-17:50 パネル討論 (利用者側として考えていくべきこと)
- 17:50-18:05 総合討論

(B2) 強相関 II (小ホール)

- 16:20-16:40 「スピネル型酸化物 MnV_2O_4 におけるスピン - 軌道混成励起波の観測」
松浦慧介 (東京大学)
- 16:45-17:05 「カイラル磁性絶縁体 Cu_2OSeO_3 における磁気スキルミオンの中性子小角散乱」
南部雄亮 (東北大学)
- 17:15-17:35 「中性子散乱による基底一重項磁性体 $CsFeCl_3$ の圧力誘起量子相転移の研究」
林田翔平 (東京大学)

(C2) 量子ビームを支える先端計測技術 (集会室 8)

- 16:20-16:40 「XMCD 検出 ESR の開発と応用」
野尻浩之 (東北大学)
- 16:45-17:05 「超伝導検出器による中性子顕微鏡の実現」
石田武和 (大阪府立大学)
- 17:15-17:35 「エネルギー分析型中性子イメージングによる稼働条件下での実用製品の直接観察」
廣井孝介 (日本原子力研究開発機構)
- 17:40-18:00 「ポジトロニウム負イオンの光脱離実験の新展開 — 形状共鳴の観測とエネルギー可変ポジトロニウムビーム生成への応用 —」
満汐孝治 (産業技術総合研究所)

(D2) CMRC セッション Part2 中性子・ミュオンで調べる摩擦と潤滑 (集会室 10)

- 16:20-16:35 「水膨潤高分子膜の凝集状態と摩擦特性」
田中敬二 (九州大学)
- 16:40-16:55 「中性子反射率法によるトライボロジー現象の理解」
平山朋子 (同志社大学)
- 17:05-17:20 「トリブロック型高分子添加剤による潤滑評価：共振ずり測定と中性子反射率測定」
水上雅史 (東北大学)
- 17:25-17:40 「量子ビームで観るフィラー界面近傍におけるタイヤ用ゴムの組成プロファイル」
堀耕一郎 (KEK 物構研)
- 17:45-18:00 「ミュオンスピン緩和法で明らかになった高分子ダイナミクス」
竹下聡史 (KEK 物構研)

- 18:45-20:45 懇親会 (フェリヴェールサンシャイン水戸)

【3月4日 (日) (3日目)】

- 08:30 受付開始 (エントランスホール)
- 09:00-10:30 **ポスターセッションパートII** (県民ギャラリー)

第35回 PF シンポジウム (大ホール)

- 10:40-10:45 開会の挨拶
平井光博 PF-UA 会長 (群馬大学)
- 10:45-12:10 施設報告
【座長：足立伸一 (KEK 物構研)】
- 10:45-11:30 放射光科学研究施設の現状と将来計画報告
村上洋一 (KEK 物構研)
- 11:30-11:40 低速陽電子実験施設報告
兵頭俊夫 (KEK 物構研)
- 11:40-12:10 大学共同利用機関としての物構研の将来像
小杉信博 KEK 物構研新所長 (NINS 分子研)
- 12:10-13:30 昼食
- 13:30-14:30 PF-UA 総会
- 14:30-15:40 光源・ビームライン・将来計画 R&D 報告
【座長：小林幸則 (KEK 加速器)】
- 14:30-14:50 PF リングと PF-AR の運転報告
高井良太 (KEK 加速器)
- 14:50-15:10 ビームライン報告
雨宮健太 (KEK 物構研)
- 15:10-15:25 将来計画 R&D 報告 (将来光源の R&D の現状)
坂中章悟 (KEK 加速器)
- 15:25-15:40 将来計画 R&D 報告 (ビームライン・設備関連の R&D)
五十嵐教之 (KEK 物構研)
- 15:40-15:45 閉会の挨拶
村上洋一 (KEK 物構研)

MLF 将来計画検討会 (集会室 10)

10:30-11:30 MLF 将来計画検討会

- 10:30-10:40 はじめに
鬼柳善明 日本中性子科学会会長 (名古屋大学)
杉山純 日本中間子科学会会長 (豊田中央研究所)
- 10:40-11:00 世界の情勢 / 中性子ミュオン合同検討
藤田全基 (東北大学)
- 11:00-11:30 中性子学会からの報告
藤田 全基 (東北大学)
三島 賢二 (KEK 物構研)
- 11:30-13:30 昼食
- 13:30-15:30 タイトル未定
- 13:30-14:00 日本中間子科学会からの報告
髭本亘 (日本原子力研究開発機構)
足立匡 (上智大学)
- 14:00-14:20 TS2 の検討状況
下村浩一郎 / 瀬戸秀紀 (KEK 物構研)
- 14:20-14:40 加速器
金正 倫計 (日本原子力研究開発機構)
- 14:40-15:10 中性子ミュオン源
原田 正英 (日本原子力研究開発機構)

牧村俊助 (KEK 物構研)
 15:10-15:30 陽子ビームライン・建屋
 明午 伸一郎 (日本原子力研究開発機構)
 15:30-15:45 休憩
 15:45-17:10 タイトル未定
 15:45-16:15 中島健次/川北至信
 (日本原子力研究開発機構)
 16:15-16:45 ミュオン科学
 河村成肇/幸田章宏 (KEK 物構研)
 16:45-17:05 議論
 17:05-17:10 まとめ 金谷 利治 (KEK 物構研)

2017年度量子ビームサイエンスフェスタ実行委員:

飯田一樹 (CROSS), 伊藤崇芳 (CROSS), 植草秀裕 (PF-UA/東工大), 大井元貴 (JAEA), 大原高志 (MLF 利用者懇談会/JAEA), 小野寛太 (KEK-PF), 川崎卓郎 (JAEA), ○小嶋健児 (KEK- ミュオン), ◎佐野亜沙美 (JAEA), 杉山弘 (KEK-PF), 瀬谷智洋 (KEK- 中性子), 丹羽尉博 (KEK-PF), 林田洋寿 (CROSS), 引田理英 (KEK-PF), ○平野馨一 (KEK-PF), 本田孝志 (KEK- 中性子), 的場史朗 (KEK- ミュオン) (◎委員長, ○副委員長, 50 音順, 敬称略)

Nanotech CUPAL 研修会開催のご案内

産総研・NIMS・KEK・筑波大・京都大が中核機関となって活動する Nanotech CUPAL (文科省補助事業) では, 各種分析技術や実習について 30 を超える研修会 (N.I.P. コース) を開催しています。



図1 CUPAL のホームページ

TCAD や TEM の 実習 など, 非常に人気の高いコースもあります。平成 30 年度 N.I.P. コース開講に向けて参加者を 2 月 1 日より募集開始しておりますので, ご興味のある方は Nanotech CUPAL のホームページ (<https://nanotechcupal.jp/>) より各機関の研修コースをご覧の上, 是非ご検討ください。

Nanotech CUPAL 第 7 回放射光利用技術入門コース X 線イメージング研修会開催のお知らせ

Nanotech CUPAL KEK 事務局

Nanotech CUPAL (Nanotech Career-up Alliance) は平成 26 年度に始まった文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」で, TIA と京都大学を中核とした

コンソーシアムです。その中で KEK は, PF を利用した放射光分析に関する講習会を実施しており, 初級者向けの入門コースでは, 毎回一つの手法に軸足をおいて, 基礎の習得から一連の実験・解析までを座学講習 (1 日) と実習 (2 日) のプログラムにより行っています。次回の第 7 回放射光利用技術入門コースでは X 線イメージングを対象とし, 平成 30 年 5 月 -6 月期に開催予定です。



図1 <http://cupal.kek.jp>

KEK の CUPAL 事務局のホームページ (<http://cupal.kek.jp>) にて募集要綱を掲載するとともに参加者を募集中です。ご興味のある方は是非参加をご検討ください。なお, 下記の 5 機関及びアライアンスを構成する 10 の大学の若手研究者 (※) には旅費 (日当及び必要に応じて宿泊費を含む) の補助を行うことができます。

日時: 平成 30 年 5 月 -6 月頃

1 日目座学講習, 2 ~ 3 日目実習

(日程が確定次第, ホームページにてお知らせいたします。)

場所: KEK-PF

受講料: 大学, 公的機関等の方は無料。

アライアンス機関の若手研究者には旅費を補助できます。企業の方はまずは事務局にご相談下さい。

問合せ先: kek-cupal@pfqst.kek.jp

(Nanotech CUPAL KEK 事務局)

申込締切: 平成 30 年 4 月 25 日 (予定)

但し, 申し訳ありませんが, 定員になり次第締め切らせて頂きます。また, 実施日程が早まる場合には締切を前倒しさせて頂く可能性がありますので, 詳細はホームページでご確認下さい。

※アライアンス機関:

産総研, NIMS, KEK, 筑波大, 京都大の 5 機関及び, 北海道大学, 東京理科大学, 東京大学, 東京工業大学, 早稲田大学, 立命館大学, 京都工芸繊維大学, 同志社大学, 大阪大学, 神戸大学。

※若手研究者:

博士課程後期学生, もしくは博士号取得後 10 年以内又は同程度の研究経歴を有する 40 歳未満の研究者 (医学系分野では 43 歳未満)



図2 吸収コントラスト 3 次元 CT

産業利用促進運転について

施設利用料等の産業利用収入から運転経費の一部を確保して加速器運転を行うことを平成30年度I期に実施することになりました。平成30年度は制度立上げのための検討データを取得するために実施します。この方式を導入することで、通常の加速器運転時間に加えて数日間以上の加速器運転延長が可能となる予定です。企業による施設利用の時間を確保しつつ、一般課題の配分時間が増加する見込みです。この延長運転期間は企業による施設利用を優先しますが、施設利用のないビームタイムでは一般課題を実施する予定です。詳細は、今後、WEB等でお知らせします。ご不明な点はビームライン担当者にお問い合わせ下さい。

平成30年度後期共同利用実験課題公募について

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）は、電子蓄積リングから放出される放射光を用いて研究を行うための全国共同利用研究施設です。

今回の公募は4月上旬から受付開始し、締切は5月中旬を予定しております（低速陽電子実験施設の共同利用実験課題を併せて公募します）。

申請は専用Webページ（<https://pmsweb.kek.jp/k-pas>）にアクセスして、必要事項を入力して下さい。これまでPFを利用されていない方は新規にユーザー登録が必要になりますので、余裕を持って申請ください。締切時間はWebシステムで設定されており、少しでも締切時間をすぎますと受け付けられなくなりますので十分ご注意ください。7月に審査結果の速報が電子メールで送られる予定です。採択された課題は平成30年10月に有効となり、実験が開始できます。

公募要項は「実験・研究公募要項（放射光共同利用実験）」（<http://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>）をご覧ください。PFのホームページ「PFで放射光利用実験を行うには（利用プログラム）」（<http://www2.kek.jp/imss/pf/use/program/>）にも詳細を掲載しています。

また、物構研の放射光、低速陽電子、中性子、ミュオンの4つの量子ビームのうち2つ以上を用いるマルチプローブ課題の公募要項については「マルチプローブ共同利用実験課題公募要項」（<http://www2.kek.jp/uskek/apply/multiprobe.html>）をご覧ください。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課 共同利用支援室 共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-879-6137

Email: kyodo1@mail.kek.jp

平成30年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 村上洋一

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますので応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成30年10月～平成31年3月
2. 応募締切日 平成30年6月15日（金）
〔年2回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先（データをメールに添付して送付）
放射光科学研究施設 主幹秘書室宛
Email: pf-sec@pfiqst.kek.jp TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1件当り上限30万円程度）。開催日程については、採択後にPF-PAC委員長と相談して下さい。また、研究会の報告書をKEK Proceedingsとして出版していただきます。

予 定 一 覧

3月 2日～4日	2017年度量子ビームサイエンスフェスタ 第9回 MLF シンポジウム / 第35回 PF シンポジウム (茨城県立県民文化センター・水戸市)
3月 8日	物構研 退職記念講演会・懇親会 (KEK 小林ホール/ホテルグランド東雲)
3月10日	総研大・高エネルギー加速器科学研究科 平成29年度大学院説明会 (一橋大学・東京)
3月20日	PF 平成29年度第三期ユーザー運転終了
3月26日～30日	研究系技術職員インターンシップ物質構造科学研究所コース
5月11日	PF 平成30年度第一期ユーザー運転開始
5月17日	PF-AR 平成30年度第一期ユーザー運転開始
6月 9日	総研大・高エネルギー加速器科学研究科 大学院説明会 (一橋大学・東京)
6月15日	平成30年度後期フォトン・ファクトリー研究会公募締め切り
6月29日	PF-AR 平成30年度第一期ユーザー運転終了
7月 3日	総研大・高エネルギー加速器科学研究科 大学説明会・オープンキャンパス (KEK つくばキャンパス)
7月 6日	PF 平成30年度第一期ユーザー運転終了
8月 4日～5日	つくばキャンパス全所停電
8月13日～15日	KEK 一斉休業

※最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> をご覧下さい。

運転スケジュール(April ~ July 2018)

E:ユーザー実験 B:ボーナスタイム
 M:マシンスタディ T:立ち上げ
 MA:メンテナンス HB:ハイブリッド運転
 I:産業利用促進日

4月	PF	PF-AR	5月	PF	PF-AR	6月	PF	PF-AR	7月	PF	PF-AR
1(日)			1(火)			1(金)			1(日)		
2(月)			2(水)			2(土)			2(月)		
3(火)			3(木)			3(日)	HB		3(火)	I	
4(水)			4(金)	STOP	STOP	4(月)			4(水)		
5(木)			5(土)			5(火)			5(木)		
6(金)			6(日)			6(水)		E	6(金)		
7(土)			7(月)			7(木)	M		7(土)		
8(日)			8(火)			8(金)			8(日)		
9(月)			9(水)	T/M		9(土)			9(月)		
10(火)			10(木)			10(日)	E		10(火)		
11(水)			11(金)			11(月)			11(水)		
12(木)			12(土)			12(火)			12(木)		
13(金)			13(日)	E		13(水)	B	B	13(金)		
14(土)			14(月)			14(木)		M	14(土)		
15(日)	STOP	STOP	15(火)		T/M	15(金)			15(日)	STOP	STOP
16(月)			16(水)	B		16(土)			16(月)		
17(火)			17(木)	M		17(日)	E	E	17(火)		
18(水)			18(金)			18(月)			18(水)		
19(木)			19(土)			19(火)			19(木)		
20(金)			20(日)	E	E	20(水)	B	B	20(金)		
21(土)			21(月)			21(木)	M	M	21(土)		
22(日)			22(火)			22(金)			22(日)		
23(月)			23(水)	B	B	23(土)			23(月)		
24(火)			24(木)		M	24(日)	E	E	24(火)		
25(水)			25(金)			25(月)			25(水)		
26(木)			26(土)			26(火)			26(木)		
27(金)			27(日)	E	E	27(水)	B	B	27(金)		
28(土)			28(月)			28(木)	M	E	28(土)		
29(日)			29(火)			29(金)	E		29(日)		
30(月)			30(水)	B	B	30(土)	I	STOP	30(月)		
			31(木)	M	E				31(月)		

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://www2.kek.jp/imss/pf/>) の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/schedule/>) をご覧ください。